

2022年（令和4年）11月吉日

神奈川県放射線友の会
会員各位

神奈川県放射線友の会
会長 長谷川 武

「創立15周年記念誌」送付について

2020年から続いている新型コロナウイルスの感染症拡大により国民は自粛生活となり、神奈川放友会の活動も自粛せざるを得ない状況となっております。

幸い、ここ2年程は「Newsletterの発行」と「ホームページの更新」及び「幌延深地層研究センター見学」と「廃棄物の最終処分を考える」副読本の出版等により辛うじて活動が出来ました。

令和4年度事業としては「創立15周年記念誌」を発行することになりました。

「10周年記念誌」と同じ編集内容で創立10周年からの5年間をまとめました。

Newsletterの掲載内容や自主活動が記載されていますが、詳しい内容はホームページの「活動報告」にNewsletter創刊号から第60回までが掲載されています。自主活動についても「会員の皆さま」「みんなの広場」に掲載されていますので15周年記念誌の補足資料として見て頂き神奈川放友会活動を顧みて頂く事を期待しています。

会の現状は、会員の高齢化と会員減そして新型コロナウイルス感染症拡大などの影響により活動の自粛が続いており、先の展望が見えないのが現状です。

2020年（令和2年）度に、老人人口が増えているのに「老人クラブ」等の会員減少が生じ、解散している現状を憂い、構想委員会（福田利雄委員長）が「少子高齢化、2025年問題、超高齢化社会での本会の活動」について、会員へのアンケートを取りまとめて頂き報告してくれました。

今年度、理事会では構想委員会の報告を参考にして新型コロナ感染収束後の活動について話し合いをしてきました。

その結果は、会員の高齢化と会員減により会の運営をスリム化させる見直しが必要だとの結論を得ました。

現在の「定款」を改正し、会員の声が反映され気楽に参加できる企画が出来る「会則」にする事を理事会で話し合っており、令和5年度総会に提案できるようにしたいと考えています。



神奈川県放射線友の会

創立 15 周年 記念誌

創立 10 年から 15 年までの 記録



もくじ

- あいさつ 神奈川県放射線友の会 会長
公益社団法人 神奈川県放射線技師会 会長
- 第1章 神奈川放友会設立から10周年そして5年経過
- 第2章 神奈川放友会 事業を振り返る
2017年(平成29年)~2022年(令和4年)10月まで
- 第3章 写真で見る創立10年~15年
- 第4章 創立15周年、近況報告
- 第5章 5年間の年表
- 第6章 歴代役員・会員名簿
- 編集後記

神奈川県放射線友の会 創立 15 周年を迎えて

神奈川県放射線友の会 会長 長谷川 武



創立 15 周年の節目を迎えましたので、会員の皆さまとこの 15 年を謙虚？に顧みて、次への出発としたいと思います。

2021 年（令和 3 年）・2022 年（令和 4 年）は、東京オリンピック・冬季オリンピックの開催や新型コロナの感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻勃発など社会に大きなインパクトを与える出来事がありました。本会はコロナ感染禍の余波で、多少は止む無く活動が低下したと思っております。

15 年前頃にはシニア世代で定年退職した仲間が、神奈川県放射線技師会を退会する実態が目につれるにつれ、高齢化が進む社会の中で、仲間の交流組織の結成が模索されており、社会貢献につながるであろうと発足したのが、「神奈川放友会」でした。お陰様でこの間、「神奈川放友会」は県技師会の指導や支援を得て、堅実な組織運営を進めてきました。

本会発足当初は 140 余名に及ぶ会員がおりましたが、途中で「神奈川県放射線友の会：(略称)神奈川放友会」の名称変更や、当初は会費なしで「神奈川放友会 Newsletter」の購読料 500 円で運営しておりましたが、運営上やむなく会費 1,000 円にする会則・定款変更の結果、大幅な会員の減少が生じ現在は 53 名の会員数となっています。そうした中でも、放射線に関連する社会啓発の活動に評価を得ながら、15 年を経過してきました。

本会は、会員の日常生活の潤いを共に考え、心身ともに健康で社会貢献が果たせることを目標にし、豊かな老いを如何に生きるかについて積極的に語り合える場「憩いの館」創りのために、放談会・見学会・競馬観戦等や旅行・文学散歩・講演会・勉強会等多彩な企画を実施すると共に、見学した貴重を体験や放射線に関連する社会啓発に関連する冊子にまとめ、多くの人たちと語り合う「場」を作っています。

神奈川放友会はそんな方々の交流の場である憩いの館ですので、今後も気軽に話し合う場を提供いたします。結成 15 年を節目として、会員の益々の活躍と共に会組織の充実を望んでおります。また、放射線技師の放友会組織として、神奈川県内のみならず他県にも誕生されて、交流が出来ればと望む会員も多いので、十分検討し繋がりを持ちたいものと考えております。執行部のみの行動でなく、シニアとしての気楽さと知識を活かして、会員総てが参加する神奈川放友会に盛り上げて頂きたいと願うので、皆さんからの他県での活動や交流などの情報提供を期待しております。

シニア世代の皆様が知識力が魅力です。小さな組織ですが第一線を退いたからこそ、自由な発想で話し合いができますので、素晴らしい仲間づくりが可能だと信じております。

神奈川県放射線友の会（神奈川放友会）は、15 年の実績経験を持ち得ておりますので、今後も組織はより発展すると関係者は予測しており、期待しています。

最後に僭越ですが、創立 10 周年誌で紹介した「神奈川放友会の座右の銘」を再度紹介して、創立 15 周年を迎えた神奈川県放射線友の会の、更なる発展を願い挨拶といたします。

「夢のない者に理想なし、理想なき者に計画なし、

計画なき者に実行なし、実効なき者に喜びなし」 （吉田松陰 著）

あいさつ

神奈川県放射線友の会 創立 15 周年を祝して

公益社団法人 神奈川県放射線技師会

会 長 田 島 隆 人



このたび、神奈川県放射線友の会におかれましては創立 15 周年をお迎えになり、心からお祝いを申し上げます。

また、創立から今日までの歴史をまとめた 15 周年記念誌が発刊されることは、これまでの歩みを未来に繋げる貴重な記録として、まことに有意義なことであり心からお喜び申し上げます。

貴会におかれましては平成 19 年の創設以来、主に県下診療放射線技師 OB の先生方への情報交換の場として、世相を反映した取り組みにより、県民の健康維持増進や介護予防を通じた社会貢献に傾注してこられました。特に、放射線の専門家として、福島原発の視察や六ヶ所村の「日本原燃原子燃料サイクル施設」見学とあらためて、皆様方の行動力に深く敬意を表します。

令和元年より続くコロナウイルス感染症で、全国的にイベント等が自粛となる中、Newsletter を中心にいち早く特集を組み、コロナウイルスに対する取り組みや、ワクチン接種の体験談等、情報提供の活動を中心に行われ、我々、現役の診療放射線技師も参考にさせていただきましたことにも感謝申し上げます。

さて、神奈川県放射線技師会の今年度の事業の一つに「災害対策への強化」があります。この事業は、約 18 年前の早瀬元会長時に、北朝鮮に於ける「核実験」を懸念し、対策の取り組みとして始めたられた、神奈川県放射線管理支部会や災害対策委員会が元となり、神奈川県における災害時の保健医療救護体制の強化を図ることが目的とした事業で、令和 4 年 3 月 28 日に、行政の神奈川県と「災害時の医療救護活動についての協定書」の締結をいたしました。本協定は、大規模災害時や原子力災害時における医療機関等への診療放射線技師の派遣支援について取り決めたもので、「災害時における診療放射線技師の派遣支援スキーム及び支援先でのエックス線装置の使用に係る取扱いについて」を定めています。

これにより、本年 10 月 16 日に神奈川県と葉山町合同総合防災訓練「ビックレスキューかながわ 2022」に診療放射線技師を派遣し、災害時に県が設置した救護施設内で、X 線発生装置を用いた画像診断を行い、迅速な救護活動を支援する訓練に参加しました。今後も本会と致しましては、色々な活動を通して、県民の保険診療維持発展へ寄与していく所存でございます。

近年、超高齢化社会に突入し、「人生 100 歳時代」と言われる中、放射線に於ける、専門家として貴会の役割は重要で、経験を生かした尽力、行動力での情報提供と、更なるご協力をお願い申し上げます。

結びに神奈川県放射線友の会が、創立 15 周年を節目として、更に発展されますことを祈念いたしまして発刊に寄せる言葉といたします。

第1章 神奈川放友会設立から 10周年そして5年経過

「神奈川放友会」設立趣意書

この度、第一線の職場を定年退職した会員が中心となり、放射線技師としての生涯の仲間意識と医療界における技師職の向上改善を図るため、社団法人（公益法人）である神奈川県放射線技師会への協力と支援を促進するために

- 1) 会員の情報交換
- 2) 放射線技師会運営に対する意見具申
- 3) 「21世紀の医療と福祉を支える会」の支援

等を目的に掲げて、神奈川県内の診療放射線技師同好会として「神奈川放友会」を設立することとした。

社会環境は行政改革が著しい中で、放射線技師職の生き残りと発展のために、日本放射線技師会は「診療放射線技師免許の更新制度」や「社会的地位の向上」に全力を尽くして取り組んでいます。この実現のためには政治の力が重要であることを認識しています。

医療技術者の意見を国政に反映させるためには「21世紀の医療と福祉を支える会」を設立してすでにその活動に努力していますが、社団法人の組織では趣旨に賛同しても実践的に協力活動ができません。従って、今回設立する「神奈川放友会」はその意志を理解しての支援体制を確立するものであり、「会員の情報交換」「技師会への意見具申」「21世紀の医療と福祉を支える会」への支援趣旨に沿った活動を行い、放射線技師の社会貢献と医療技術の環境改善・技師の身分保障等を図りたいと考え、神奈川地域の支援団体の結集を望んでおります。

神奈川県放射線技師会創立60周年を迎えて更なる社会活動を推進する技師会に、支援の輪を作って協力したいと考えています。

ご支援ご協力をお願いします。

「神奈川放友会」は「社団法人神奈川県放射線技師会」と車の両輪として積極的に活動することを前提としております。この会の会員資格は「神奈川県放射線技師会の現会員・退会会員・この会の趣旨に賛同した者」を会員として組織することを考えています。

「神奈川放友会」設立の趣旨をご理解して頂き、ご支援ご協力をお願いいたします。

2007年（平成19年）6月 吉日

神奈川放友会設立総会

日 時 2007年（平成19年）11月17日（土）16:15～16:45
場 所 横浜エクセルホテル東急 （参加者30名）

リニューアルした「神奈川放友会」

神奈川放友会解散と新「神奈川放友会」の設立

総会場 かながわ県民センター302号室
開催日 2015年（平成27年）4月18日（土） 13:00～14:00

長谷川会長挨拶

平成27年度神奈川放友会総会にあたり、会長挨拶を申し上げます。
本会の創立は平成19年11月17日ですので、今日まで7年5カ月を経ました。

会員登録は3月7日現在で146名を数え、会の活動も順調に執り行われ、Newsletter30号までの発行と3度の出版物発行及び「講演と音楽の集い」や「文学探訪の史跡めぐり」・「競馬観戦」など、市民向けや会員向けのイベントを実施してきました。

特に、4年前の東日本大震災に伴う東電原発事故により、放射線技師としての専門集団である我々「神奈川放友会」は、「放射線の安全・安心に関する基礎知識の社会啓発活動」の意義を認め、その社会的な活動をよりStep Upしようとしております。

しかし、会費無しの組織活動運営には、無理が生じてきました。役員の金銭的負担等があまりにも大きく、且つ、4月からのメール便費用の増額等による負担増の為、本会を基本的に見直しすることになりました。

創立10周年記念式典

日時 2017年（平成29年）11月11日（土）12:00～14:00
会場 横浜中華街 市場通り 北京烤鴨店（ペキンカオヤーテン）

創立15周年

日時 2022年（令和4年）11月17日

第2章 神奈川放友会 事業を振り返る

2017年（平成29年）～2022年（令和4年）10月まで

1 「神奈川放友会 Newsletter」発行事業

2008年（平成20年）

創刊号 Vol.1 No.1 Jan.,2008（2008年1月11日）

巻頭言 神奈川放友会の設立にあたり 会長 長谷川 武

- 神奈川放友会設立総会報告
- 「神奈川放友会会則」
- 「放友会歌壇」

）

2017年（平成29年）

第40号 Vol.10 No.4 Oct. 2017（2017年10月15日）

巻頭言 動いているぞ！神奈川放友会 監事 橋 亨

- 真偽判断する手間惜しむ/震災6年 災害と日本
- 復興6年！東日本大震災被災地を訪ねる
- 創立10周年記念事業「食と放射線」第3版 出版
- みんなの広場
- 創立10周年記念 広報

以上創立10周年誌掲載

2018年（平成30年）

第41号 Vol.11 No.1 Jan.2018（2018年1月15日）

巻頭言 仕事仲間をつくる 会長 長谷川 武

- 創立10周年記念式典 報告
- スイス・アルプス山巡り
- 健康のために…新たな挑戦
- 原発事故7年目 揺れる甲状腺検査
- 「みんなの広場」

第42号 Vol.11 No.2 Apr. 2018（2018年3月15日）

巻頭言 Newsletterの記事投稿にご協力を 理事 櫻田 晃

- 平成30年度 神奈川県放射線友の会 総会資料
- NPO 法人プラチナ美容塾の活動で元気に！
- 茅ヶ崎市民に「食と放射線」第2・3版を寄贈
- 神奈川放友会活動の再認識
- 「みんなの広場」
- 平成30年度 神奈川県放射線友の会総会のお知らせ
- 平成30年度 神奈川県放射線友の会 「放談会」のお知らせ
- 平成30年度 事業案内 「恒例の東京競馬場観戦&参戦」

第43号 Vol.11 No.3 Jul. 2018（2018年7月15日）

巻頭言 立ち寄りどころ！放友会のホームページ、見てくださいね！

理事 小嶋 昌光

- 平成30年度 神奈川県放射線友の会総会・放談会報告

第2章 事業を振り返る

- 特別講演 12:30 ~ 13:00 『福島第一原子力発電所 廃炉作業の取組み』
- 女子中学生の声! 「放射能はうつりません」
- 管理栄養士の仕事について
- <不適切な画像検査>撮影増は病院利益 被ばくリスク考慮を
- 「みんなの広場」

第44号 Vol.11 No.4 Oct. 2018 (2018年10月15日)

巻頭言 福島原発の見学と富岡町役場訪問 会長 長谷川 武

- 東京電力福島第一・第二原子力発電所見学と富岡町役場表敬訪問の記録
- 事故由来による追加線量「0.23 μ Sv/h」
- 福島第一・第二原子力発電所見学と富岡町役場表敬訪問の感想
- 「みんなの広場」

2019年(令和元年)

第45号 Vol.12 No.1 Jan. 2019 (2019年1月15日)

巻頭言 長寿化時代の神奈川放友会 会長 長谷川 武

- 東日本大震災に学ぶ 放射線って、何だろう?
- 秋のカナダ旅行
- 史跡名勝 広島平和記念公園
- 「みんなの広場」

第46号 Vol.12 No.2 Apr. 2019 (2019年4月1日)

巻頭言 長寿化社会の現状 理事 上前 忠幸

- 平成31年度 神奈川県放射線友の会 総会資料
- がん5年生存率調査からがん検診を考える
- 夢の超特急 リニア見学センターを訪問
- 「みんなの広場」
- 平成31年度 神奈川県放射線友の会総会のお知らせ
- 平成31年度 神奈川県放射線友の会 「放談会」のお知らせ
- 平成31年度 事業案内 「恒例の東京競馬場観戦&参戦」

第47号 Vol.12 No.3 Jul. 2019 (2019年7月1日)

巻頭言 神奈川県放射線友の会に寄せて 顧問 野口 雄司

- 平成31年度 神奈川県放射線友の会総会・放談会報告
- 謎の高放射能微粒子とは
- ボーっと生きてたら、単位が変わったらしい!!
- 神奈川の史跡巡り/日向薬師
- JAXA 宇宙科学研究所と相模原市立博物館見学 案内
- 「みんなの広場」

第48号 Vol.12 No.4 Oct. 2019 (2019年10月1日)

巻頭言 学校給食の歴史(過去と現在・問題点) 理事 仙台真紀夫

- 「ラジエーションハウスから診療放射線技師の価値を考える」
- 私・日本の書紀
- 令和元年度 第1回「神奈川放談会」
実施日 令和元年6月27日(木) 14:00~16:00
- JAXA 宇宙科学研究所と相模原市立博物館見学報告(速報) 実施日 令和元年8月17日(土)
- 六ヶ所村日本原燃見学 見学者募集
- 「みんなの広場」

2020年（令和2年）

第49号 Vol.13 No.1 Jan. 2020（2020年1月1日）

巻頭言 魅力ある神奈川放友会に

会長 長谷川 武

- 診療放射線分野における「感染症対策ガイドラン」が出された意義とは
- JAXA 宇宙科学研究所と相模原市立博物館見学記
- 「老人クラブ」は、なぜ衰退したのか
- 六ヶ所村「日本原燃原子燃料サイクル施設」見学報告
- 「みんなの広場」

第50号 Vol.13 No.2 Apr. 2020（2020年4月1日）

巻頭言 50号 記念号に想う

会長 長谷川 武

- 令和2年度 神奈川県放射線友の会 総会資料
- 私たちの故郷・地球は宇宙のどこにある？
- ロケットと人工衛星が切り開く「日本の宇宙産業」 「科学と技術」を国民チーム力で
- 田中耕一受賞後16年、アルツハイマー病早期発見の糸口を掴む 「ノーベル賞会社員 科学技術立国の苦闘」
- 「神奈川放友会」と「2025年問題」を考える・・・神奈川放友会アンケート調査実施について・・・
- 令和2年度 神奈川県放射線友の会総会・放談会のお知らせ

第51号 Vol.13 No.3 Jul. 2020（2020年7月1日）

巻頭言 「COVID-19」に思う！！

副会長 早瀬 武雄

- 令和2年度 神奈川県放射線友の会 総会報告
- 地層処分事業の学習参加地域団体の全国交流会
- COVID-19に感染！？PCR検査受けた！
- COVID-19との闘い
- COVID-19に思う
- 「みんなの広場」

第52号 Vol.13 No.4 Oct. 2020（2020年10月1日）

巻頭言 グダグダ暮らしと「神の一手」

副会長 橋口 邦紘

- 「求められる行動指针对応について／活動の源泉となる安全・安心とは」
- アジア系民族・モンゴロイドがアンデス文明・インカ帝国を創った
- 「コロナ時代に生きる」
- 「みんなの広場」

2021年（令和3年）

第53号 Vol.14 No.1 Jan. 2021（2021年1月1日）

巻頭言 放射性廃棄物最終地層処分地問題が話題になる！

監事 橋 亨

- 新型コロナ、パンデミックでこれからの「神奈川放友会」を考える
- 「はやぶさ2」のふるさと相模原
- 「故郷のホヤ（海鞘）の味」
- 福島第一原発汚染水の現状と処理
- 「みんなの広場」

第54号 Vol.14 No.2 Mar. 2021（2021年4月1日）

巻頭言 会員の義務を考えよう！

会長 長谷川 武

第2章 事業を振り返る

- 令和3年度 神奈川県放射線友の会 総会資料
- 「With コロナ」での生活
- 「COVID-19」について
- 令和3年度 神奈川県放射線友の会総会のお知らせ
- みんなの広場

第55号 Vol.14 No.3 Jul. 2021 (2021年7月1日)

巻頭言 「必要火急」の準備はできていますか?! 監事 中村 豊

- 令和3年度 神奈川県放射線友の会 総会報告
- 【会員の意思疎通の今後を考える!そして近況報告】
- 藤井聡太と「鬼の棲家」
- チェルノブイリ原発事故による被曝による遺伝影響は認められなかった
- SF映画の世界
- 一風変わった前立腺癌治療関連闘病記
- 「みんなの広場」

第56号 Vol.14 No.4 Oct. 2021 (2021年10月1日)

巻頭言 【無責任な「安全」・「安心」の言葉の乱用の怖さを考える】

顧問 野口 雄司

- 農産物を餌にウニを養殖
- 医療法の一部改正に伴う、診療放射線技師法の改正と診療放射線技師の業務拡大
- 現在の心境・趣味・余暇の過ごし方等の報告
- 「みんなの広場」

2022年(令和4年)

第57号 Vol.15 No.1 Jan. 2022 (2022年1月1日)

巻頭言 対話は自由な発言と共通の認識・・・ 副会長 早瀬 武雄

- 幌延深地層研究センターの見学に参加 印象記
- COVID-19 について(2)
- 茅ヶ崎市長に放射線量測定結果を報告
- 現在の心境・趣味・余暇の過ごし方等の報告
- 経産省・資源エネルギー庁、原子力発電環境整備機構(NUMO)主催 第2回WEB交流会「文献調査地域の状況～片岡寿都町長をお招きして～」
- 「みんなの広場」

第58号 Vol.15 No.2 Apr. 2022 (2022年4月1日)

巻頭言 地域活動で恩恵を活かせ 会長 長谷川 武

- 令和4年度 神奈川県放射線友の会 総会報告
- 養殖サバが人気
- 「湘南平から大山阿夫利神社」ドライブ
- 「安心な生活を送る」活動提案
- 現在の心境・趣味・余暇の過ごし方等の報告
- 令和4年度 神奈川県放射線友の会総会のお知らせ

第59号 Vol.15 No.3 Jul. 2022 (2022年7月1日)

巻頭言 藤井 聡太 名人を超える 副会長 橋口 邦紘

- 平成24年度神奈川放友会総会報告
- わくわくミステリーツアーの旅に参加
・・・どこ・どこ・どこ・どこでしょうか・・・

- For Seven Days From 3.11 Beyond The Moment

第60号 Vol.15 No.4 Oct. 2022 (2022年10月1日)

巻頭言 「健康」にチャレンジ!! 監事 中村 豊

- シルバー男の談話室で
原発「廃棄物の最終処分を考える」を講演
- 脱炭素エネルギーへの道
- 放友会の友人とタケノコ狩りを楽しむ
- 「みんなの広場」 創立15周年にむけて
「現在の心境・趣味・余暇の過ごし方等」募集

2 ホームページ更新記録

ホームページ(HP)の開設 2000年(平成20年)7月15日

2018年 (平成30年) 1月・4月・7月・10月

2019年 (令和元年) 1月・4月・7月・10月

2020年 (令和2年) 1月・4月・7月・10月

2021年 (令和3年) 1月・4月・7月・10月

2022年 (令和4年) 1月・4月・7月・10月

- ・2021年(令和3年)11月1日よりレンタルサーバーが変更され URL も変更されました。

下記の URL で検索してください。

<https://kanagawahohyuh.sakura.ne.jp>



3 「放談会」 開催

第10回 放談会 2018年（平成30年）4月7日（土）

会場 桜木町ワシントンホテル5階「BAYSAIDE ドルフィンの部屋」
特別講演 『福島第一原子力発電所 廃炉作業の取組み』 講師 東京電力
放談会テーマ 『よくぞ続いた「放友会」 これからを語る！』
バイキング料理を堪能しながら歓談いたしましょう。

第11回 放談会 2019年（平成31年）4月20日（土）

会場 桜木町ワシントンホテル5階「BAYSAIDE ドルフィンの部屋」

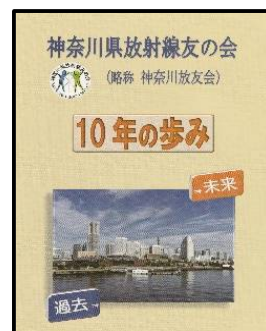
4 出版事業

神奈川県放射線友の会図書出版第5号

2017年（平成29年）11月11日 発行

「神奈川県放射線友の会 10周年の歩み」

A4版 48頁



神奈川県放射線友の会図書出版第6号

2018年（平成30年）11月17日 発行

「福島原発と富岡町」訪問記

A4版 96頁

2018年（平成30年）7月11日（水）・12日（木）にかけて東京電力福島第一・第二原子力発電所視察と富岡町役場復興推進課放射性管理係を表敬訪問した経過を主に記載した。



神奈川県放射線友の会図書出版第7号

2020年（令和2年）1月31日

発行

六ヶ所村「日本原燃 原子燃料サイクル施設」見学記

A4版 64頁

2019年（令和元年）11月12日（火）・13日（水）、六ヶ所村「日本原燃原子燃料サイクル施設」見学に際しての事前勉強会と見学の様子をまとめ掲載した。



神奈川県放射線友の会図書出版第8号

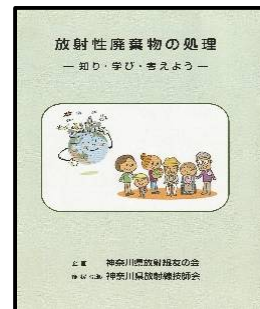
2020年（令和2年）1月31日

発行

【放射性廃棄物の処理】—知り・学び・考えよう—

A4版 188頁

日本の原子力利用の歴史・諸外国の原子力発電所事情・放射線廃棄物・地層処理等について多くの人に知ってもらいたい内容を掲載した。



神奈川県放射線友の会図書出版第9号

2022年（令和4年）2月28日

発行

原子力発電 廃棄物の最終処分を考える

—知り・学び・理解しよう—

原子力発電での使用済燃料の地層処理等について、会員・家族・知り合いの方に知ってもらいたい内容を掲載した。会員に配布

A4版 120頁



神奈川県放射線友の会図書出版第10号

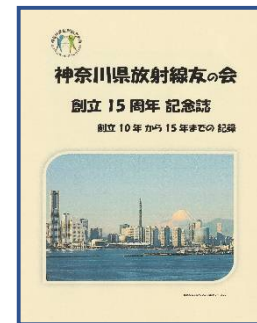
2022年（令和4年）11月17日

発行

「神奈川県放射線友の会 創立15周年記念誌」

A4版 30頁

創立10年から15年までの記録



5 地域住民に対する「放射線の安全・安心」への啓発活動

2017年（平成29年）12月21日（木）

茅ヶ崎市民に「食と放射線」第2・3版を寄贈

茅ヶ崎市役所で副市長・環境部長に面会、神奈川県放射線友の会会長谷川会長、早瀬副会長、上前理事の三人が、茅ヶ崎市役所市長室を訪問して、「食と放射線」第2版・第3版を贈呈しました。

2018年（平成30年）4月7日（土） 特別講演会

『福島第一原子力発電所 廃炉作業の取組み』

東京電力パワーグリッド株式会社神奈川総支社 副総支社長 吉村 陽
講演者 東京電力ホールディング株式会社立地地域部 原子力センター
副所長 鈴木 聡博

会場 桜木町ワシントンホテル5階 「BAYSAIDE ドルフィンの部屋」

2022年（令和4年）8月1日（月）

第60回 シルバー男の談話室 講演会

「原子力発電廃棄物の最終処分を考える ―知り・学び・考える―」
の冊子を12名の会員に寄贈した。

9:30 ~ 12:15
上中里自治会館

総合司会 大島 龍彦
司 会 長谷川 武

**「原子力発電廃棄物の最終処分を考える ―知り・学び・考える―」
の冊子を基にした 横浜市磯子区の地域住民との対話の実現!!**

2022年（令和4年）8月1日（月） 9:30～12:15

上中里自治会館

原子力発電 「廃棄物の最終処分を考える」―知り・学び・考えよう―

1) 福島第一原発汚染水の現状と処理

講師 神奈川放友会 監事 中村 豊

2) 使用済み燃料の地層処分

講師 神奈川放友会 副会長 早瀬 武雄

6 イベント開催の実績

2017年（平成29年）11月11日（土）12:00～14:00

創立10周年記念式典 創立10周年記念事業実行委員会

会場 横浜中華街 市場通り 北京烤鴨店（ペキンカオヤーテン）

会費 6,000円 Tel 045-30-6677

内容 記念式典

1. 会長挨拶
2. 10年の経過報告
3. 来賓挨拶
4. 記念講演 「復興6年！東日本大震災被災地を訪ねる」
5. 放談会 テーマ 「これからの放友会活動を語る」
6. 閉会の言葉

大いに語り合いました・・・

2018年（平成30年）7月11日（水）・12日（木）

東京電力福島第一・第二原子力発電所見学と

富岡町役場表敬訪問

7月11日（水）

東京電力旧エネルギー館に向かう。旧エネルギー館では、福島第一廃炉推進カンパニー廃炉コミュニケーションセンター課長の挨拶と概要説明があり、その後バスで20分位かけて福島第一原子力発電所に移動した。大型休憩所での職員と一緒に昼食。その後バスからの見学でしたが廃炉作業が行われていた。

- ・富岡ホテル着 ホールにて、渡辺信一取締役支配人に閲覧室に置いていただくよう「食と放射線」2冊とNewsletter43号を贈呈した。
- ・東京電力の関係者3名を迎えて懇親会が行われた。廃炉作業の事、東電職員のご苦労話などを聞くことができ、有意義かつ楽しい懇親会であった。
- ・仮設破碎選別施設富岡町廃棄物処理業務 福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の影響が残る福島県において、避難指示区域内の廃棄物処理が環境省の事業として開始されている。除染作業が行われている福島県富岡町では、町内で発生した津波がれきや除染作業に伴って発生した廃棄物等処理するための施設が建設され処理が進んでいる。

7月12日（木）

東京電力福島第二原子力発電所に向かった。福島第二原子力発電所は、福島第一原子力発電所と同様に地震による被害を受けた。

- ・津波の被害を受けたが、炉心損傷に至ることなく全号機の冷温停止を達成した。その要因としては、地震、津波の後も外部電源等、交流電源設備が使用可能であり、原子炉を冷やすことができたことが挙げられる。職員の奮闘の賜物であった。
- ・福島県立ふたば医療センター附属病院は、4月23日（月）より診療開始。24時間365日の救急医療を提供している。横浜市より出向中の技師会会員がおり、活躍を期待する。

視察団

団 長 長谷川 武 副団長 中村 豊

団 員 ・ 橘 亨 ・ 上前 忠幸 ・ 福田 利雄 ・ 氏家 盛通
・ 志田 潤治 ・ 野澤 武夫 ・ 千田 久治 ・ 早瀬 武雄
以上 10名

2018年(平成30年)5月13日(日)

「恒例の東京競馬場観戦 & 参戦」

2018年(平成30年)5月13日(日) G1 ヴィクトリアマイルに挑戦
8時30分 JR 府中本町駅(競馬場専用通路前)集合 参加費 2,500円

2019年(平成31年)5月12日(日)

「恒例の東京競馬場観戦 & 参戦」

2019年(平成31年)5月12日(日) G1 ヴィクトリアマイルに挑戦
8時30分 JR 府中本町駅(競馬場専用通路前)集合 参加費 2,500円

2019年(令和元年)8月17日(土)

JAXA 宇宙科学研究所と相模原市立博物館見学

今回は、生命の起源に迫るべくミッションを負い、つい先日見事小惑星リュウグウへの着陸を果たし、その地中の岩石等資料採取に成功したと考えられ注目を浴びている宇宙探査機「はやぶさ2」のすべてに関わるJAXA宇宙科学研究所でした。タイムリーな企画ということで、いつになく会員の家族の参加も多くあり盛況でした。参加者は総勢16名でした。

2019年(令和元年)10月126日(土)

地層処分についての勉強会

2019年(令和元年)10月26日(土)

六ヶ所村日本原燃見学事前勉強会

講演内容 放射性廃棄物の取組みの現状と課題

- ・地層処分の考え方とこれまでの経緯
- ・科学的特性マップの提示
- ・なぜ地層処分のサイト選定は進まないのか

講師 元東北大学教授 朽山(とちやま)修 氏

2019年(令和元年)11月12日(火)・13日(水)

六ヶ所村 日本原燃「原子燃料サイクル」施設 見学

2019年(令和元年)11月12日(火)・13日(水)

12日(火)

東京駅 10:40 発 はやぶさ 17号 八戸駅 13:33 着
八戸博物館・根城・市内見学・泊

13日(水)

ホテル 7:00 発 六ヶ所ソーラパーク・原燃 PR センター見学
9:00 日本原燃見学
12:15 青森県量子科学センター見学
七戸十和田駅 14:53 発 横浜駅 18:41 着 解散

2021年(令和3年)10月18日(月)・19日(火)

幌延深地層研究センター 見学

2021年(令和3年)10月18日(月)・19日(火)

18日(月) 羽田空港 14:00 発 新千歳空港 15:35 着
新千歳空港 16:00 発 稚内空港 16:55 着
稚内空港から路線バス 宿泊ホテル 泊

19日(火) ホテル 8:15 発 幌延深地層研究センター 9:30 着
見学 11:40 まで
トナカイ観光牧場・オトシルイ風力発電所・宗谷岬見
学・稚内空港・稚内空港 16:20 発
新千歳空港・羽田空港 21:10 着 解散